



平成 29 年 4 月 7 日

各 位

会 社 名 久光製薬株式会社
代表者名 代表取締役会長
最高経営責任者(CEO) 中富 博隆
(コード番号:4530 東京、名古屋、福岡)
問合せ先 取締役執行役員 IR 室長 高尾 信一郎
(TEL 03-5293-1704)

「第 6 期中期経営方針」策定のお知らせ

久光製薬株式会社（本社：佐賀県鳥栖市、代表取締役会長 最高経営責任者（CEO）：中富博隆、以下「当社」）は、このたび平成 30 年 2 月期（平成 29 年度）から 5 ヶ年の「第 6 期中期経営方針」を策定いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 「第 6 期中期経営方針」策定の背景

当社は将来に渡る持続的な成長を遂げるため、これまでに第 1 期から第 5 期までの中期経営方針を策定し、実行しております。一方、昨今の急激な外部環境の変化や競争の激化などが発生した結果、進行中であった第 5 期中期経営方針の前提条件が大きく異なってまいりました。そのため、当社は新しく認識した課題の克服と、平成 30 年 2 月期（平成 29 年度）を起点とした 5 ヶ年最終年度（平成 33 年度）の目標を確実に達成すべく、このたび新たな第 6 期中期経営方針の策定に至りました。

2. 「第 6 期中期経営方針」の実行プラン

（1）営業活動

- 国内・一般用医薬品事業
 - ◆ 新領域への積極的な進出と活動強化
 - ◆ 顧客視点での継続的な商品改良の実施
 - ◆ 国内・一般用医薬品市場内におけるプレゼンス向上
- 国内・医療用医薬品事業
 - ◆ 疼痛領域^{*1}へのリソースの集中
 - ◆ ライセンス活動の強化
 - ◆ 生産性の向上

*1 疼痛領域：整形外科やペインクリニック等

- 海外・一般用医薬品事業
 - ◆ サロンパス®のブランド価値最大化
 - ◆ 自社貼付剤の上市と育薬
 - ◆ 米国・アジアでの活動強化と現地化の推進
- 海外・医療用医薬品事業
 - ◆ アジア市場への本格的参入
 - ◆ 日米における医療用医薬品の水平展開
 - ◆ 米国・Noven 社が持続的に利益を創出できる体制の構築

(2) 研究開発活動

- ◆ 既存品や競合品と明確に差別化した貼付剤の研究・開発
- ◆ 久光グループにおける開発テーマの一元化の推進
- ◆ 新規基盤技術の開拓

(3) 生産活動

- ◆ 高効率な生産体制の追求
- ◆ 製造品質・生産技術の向上
- ◆ 海外生産拠点の能力拡大

(4) その他の活動

- ◆ 業務効率化
- ◆ 人材育成の強化
- ◆ 久光グループにおけるESGの推進

3. 「第6期中期経営方針」の経営目標

5カ年最終年度（平成33年度）における当社の経営目標は以下の通りです。

	平成28年度 実績	平成29年度 予想	平成33年度 目標	5年間 年平均成長率
売上高	1,459億円	1,470億円	1,700億円	3.1%
原価率	36.4%	37.9%	35.0%	—
販管费率	45.5%	45.7%	45.0%	—
営業利益	263億円	241億円	340億円	5.3%
ROE * ²	9.0%	—	8.0%以上	—

*² ROE : Return on Equity (自己資本純利益率)

以上



伝えよう 手から手へ

久光製薬株式会社は1847年に創業し、多くの皆様に支えられ、おかげさまで創業170周年を迎えました。